（様式６）

旅　費　支　払　証　明　書

出張年月日	令和６年９月７日
出張先（目的）	ロゼシアター（富士市）

出張者氏名	鈴木　恵			

旅　費　額　内　訳

項　目	金　額	備　考
交通費	７，４６０円	詳細は下記および別紙添付
日　当	１，５００円	@１，５００円×１人×１日
宿泊費	円	@１４，８００円×１人×　泊
合　計	８，９６０円	

金　額		百	拾	万	千	百	拾	円
				¥	８	９	６	０

上記の金額を政務活動費として支払ったことを証明します。

令和６年９月１１日

会　派　名　　浜松市政向上委員会

代　表　者　　鈴木　恵 [redacted]

（署名又は記名押印をしてください。）

〈詳細〉

JR 浜松駅～静岡駅～富士駅（3,730 円×２）×１人＝7,460 円

※浜松駅～静岡駅（新幹線）、静岡駅～富士駅（特急）を利用

（様式６）

〈別紙　領収書添付欄　１〉

領　収　書

Receipt

敬老政自立殿　様

領収年月日　2024-9-7　登録番号：T3180001031569

金　額　￥7,460（消費税等込み）　税10%

上記金額確かに領収いたしました

購入商品　ＪＲ乗車券類

（10078　6枚）

東海旅客鉄道株式会社

浜松駅ＭＶ２発行　20079-02

印紙税申告納付につき名古屋中村税務署承認済

（様式７）

支　払　証　明　書

金　額		百	拾	万	千	百	拾	円
			￥	3	0	3	8	5

但し　　受講料として

内訳　　自治政策講座受講料　　３０，０００円
　　振込手数料　　３８５円

上記の金額を政務活動費として支払ったことを証明します。

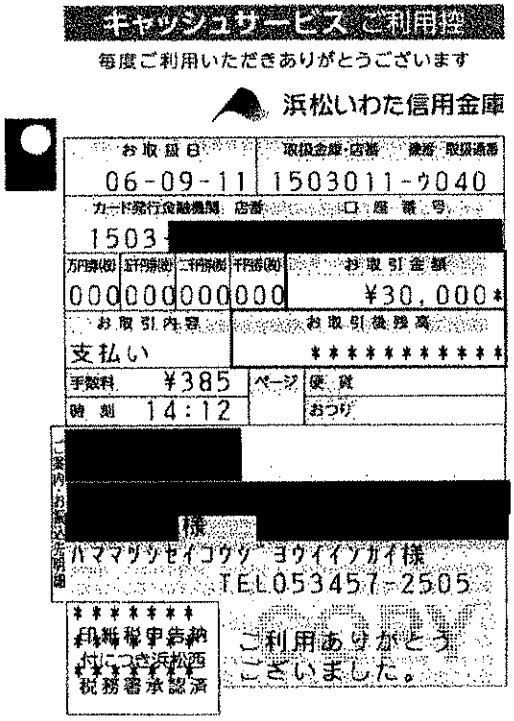
令和６年９月１１日

会　派　名　　浜松市政向上委員会
代　表　者　　鈴木　恵[redacted]

（署名又は記名押印をしてください。）

（様式７）

〈別紙　領収書添付欄　１〉



キャッシュサービスご利用控

毎度ご利用いただきありがとうございます

浜松いわた信用金庫

お取扱日	取扱金庫・店番	連番	取扱通番
06-09-11	1503011-0040		

カード発行金融機関 店番	口座番号
1503 [redacted]	

万円券(枚)	五千円券(枚)	二千円券(枚)	千円券(枚)	お取引金額
0	0	0	0	¥30,000*

お取引内容	お取引後残高
支払い	**********

手数料	¥385	ページ	硬貨
時刻	14:12		おつり

ご案内・お振込先明細

[redacted]

[redacted] 様

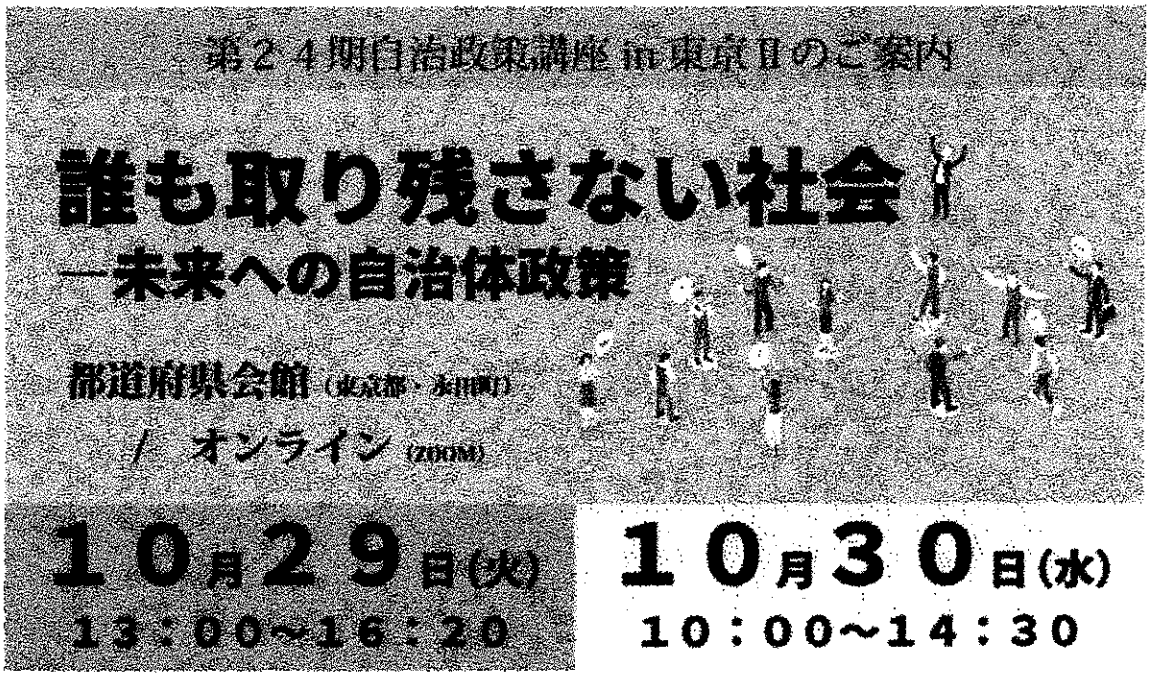
ハママツセイコウソ　ヨウイインカイ様

TEL053457-2505

******
印紙税申告納
付につき浜松西
税務署承認済

ご利用ありがとうございました。

差出人：自治体議会政策学会 copa@imagine-j.co.jp ㈱
件名：先行予約【第24期自治政策講座in東京２】のご案内：自治体議会政策学会
日付：2024年9月4日 11:45
宛先：[redacted]



第24期自治政策講座in東京２

誰も取り残さない
未来への自治体政策

日　時：２０２４年**１０月２９日（火）・３０日（水）**
会　場：**都道府県会館**（東京都・永田町）　／　オンライン（ZOOM）
受講料：２日間　30,000円　　１日のみ　20,000円
（※両日参加の方には修了証を発行）
お問合せ：自治体議会政策学会 TEL：03-5227-1827

お申込みフォーム

□■プログラム■□

１０月２９日（火）13：00～16：20

第１講義　13：00～14：30

誰もが通える学校づくり
―地域も変わる教育とは

木村　泰子

元大阪市立大空小学校 校長

公教育の理念とは今の多様な個性を持つすべての子どもの学習権を保障すること。学校は子どもの命を守る大きな使命をもっている。

子どもが安心して学校に行ける、自分らしく学べる居場所を作ることが求められている。勉強ができる・できないで子どもに分断をもたらすことなく、自分で考えて自分で決めて自分で実行できる学校づくりが大切となる。

講師が初代校長を務めた大阪市立大空小学校での実践から、公立校の生きた学びについてお話しいただく。



第２講義　14：50～16：20

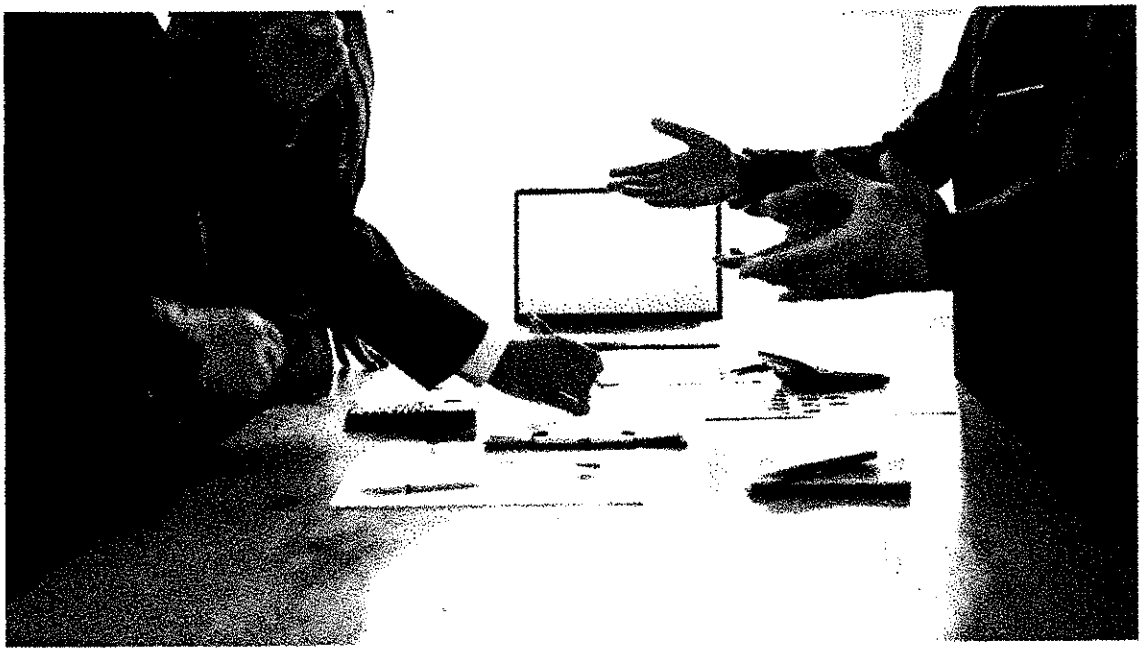
自治を担う条例づくり
―立法分権時代の議会へ

磯崎　初仁

中央大学法学部　教授

自治体の自主立法である条例は議会による議決によって成立する。自治を担う議会は、地域課題解決へ向けて正しく立法権を駆使しているだろうか。

災害多発時代に現場で対応・判断が迫られる自治体には、一層の「自治」に対する姿勢が問われている。国・都道府県・市町村・コミュニティなど複数レベルの政治単位間の合意形を前提に、縮減時代だからこその「立法分権」と論じてきた講師が、土地利用管理（開発規制）やコロナ対策など具体的な政策課題を素材として地域独自の政策形成や条例制定の在り方を分かりやすく解説する。



１０月３０日（水）10：00～14：30

第３講義　10：00～11：30

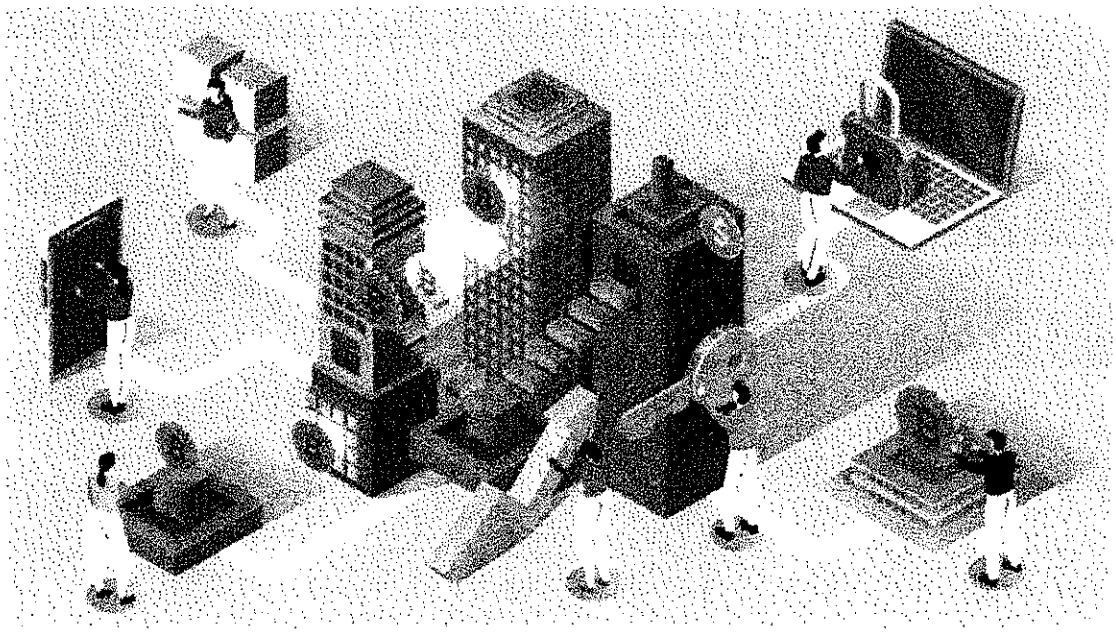
地域経済の活性と地域通貨
―現状と課題

泉　留維

東海大学 教授

1999年初頭には数えるほどしかなかった地域通貨が、2021年12月現在での延べ立ち上げ数が650以上となっている。開始して４年以内に約半数が地域通貨を中止し、10年以上稼働した地域通貨は全体の21％に過ぎない。

地域通貨の研究を重ねてきた講師が、その黎明期から発展期までの経過と2020年以降の展望について、社会改革の可能性や、継続性、デジタル化などを含めて解説する。また地域の経済活動として、地域社会の繋がりを強める発行形態やその可能性と自治体の役割・課題を伺う。



第４講義　13：00～14：30

民主主義と自治を深化させるための自治体DXとは
―先進的事例や議論のポイント

内田 聖子

NPO法人アジア太平洋資料センター 共同代表

デジタル化は民主主義の深化に役立っているのか。巨大ＩＴ企業がもたらす便利さと快適さの宣伝により、ＩＴソフトやサービスの購入は拡大している。アプリ、ＳＮＳによる交流など生活に必要不可欠なインフラとして自治体も多用している。そして生成ＡＩは市民社会になにをもたらすのか。

日本のデジタル社会形成の大方針として政府が決定した「デジタル社会を形成するための10の基本原則、その中の[1]オープン・透明、[2]公平・倫理、[3]安全・安心は自治体においてどのように担保できるのかなどを解説する。また、各地の取り組みの現状や提言を紹介し議論の方向を示す。

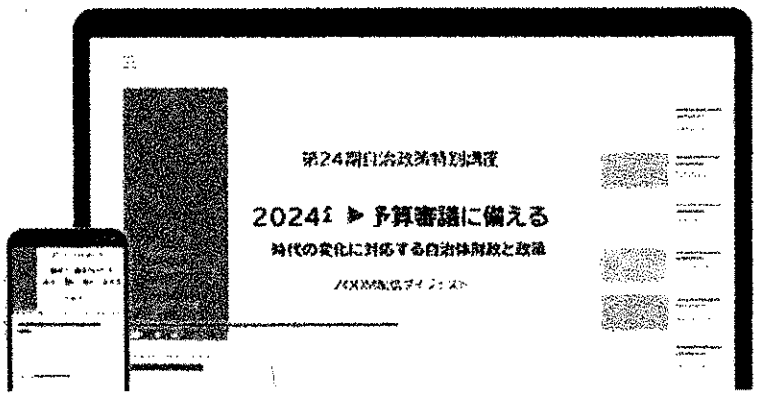


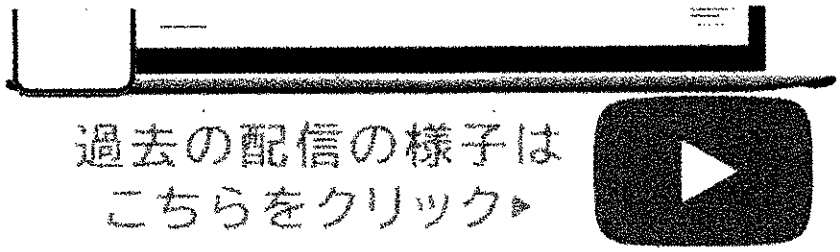
お申込みフォームへ

昨年、２０歳代以下の若年層の自殺者数が前年から大幅増になった。若い世代の死因の1位が自殺という日本社会の特有な事態は続いている。「こども真ん中社会」の実現を目指すというが、子どもの心や人生は大切にされているだろうかと疑問が残る。

コロナ禍に対応する中で、取り残された子どもや多くの人々がいた。今こそ、包摂政策の具体化が求められているのではないだろうか。今回の講座は、誰も取り残さない包摂的な社会へ向け、様々な政策課題を「自治」を基礎にご講義いただきます。

インクルーシブ教育の実践、自治体の条例づくり、地域助け合いから生まれた地域通貨、進む自治体のＤＸを分からないままにしない―など自治体議員に問われる課題について第一線の講師が実践に裏付けられた新たな視点と情報を提供します。ご参加お待ちします。





◆お問い合わせ◆

自治体議会政策学会事務局 [redacted]

TEL：03-5227-1827　　FAX:03-5227-1828

E-mail:copa@copa-web.net

■メールの受信停止■

このメールの受信停止を希望する場合には、 こちらから受信設定を変更してください。

https://d.bmb.jp/bm/p/f/s.php?id=bm81132jm&mail=megu%40megumi-happy.net&no=15080

■発行・編集： 自治体議会政策学会

自治政策講座受講のご案内(受講確認票及びお振込先)

鈴木　恵　様

拝啓

残暑の候、お元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。

この度は、自治政策講座へのお申し込みいただきありがとうございます。

お申込みの講座に関する受講内容の確認のご案内と、受講料のお振込みのお願いです。

1. **受講料は**右記口座へ期限までにお振込みください。
2. 裏面の**受講確認票に**必要事項を記入の上、**領収書の宛名をご記入いただき**、ファクシミリ・郵送・メール等で**お早めにご返送ください。**
   (※裏面撮影データをメールで送信も可能です。)
   または、**QRコードからフォームでご回答**ください。
3. 当日、受付にて領収書をお渡しします。
   裏面にて領収書のお宛名を必ずご記載ください。
4. **キャンセルの場合**は必ず開催日の**3日前まで**にご連絡ください。
5. **宿泊希望の方は、直接宿泊先施設にご予約ください。**
   ご参考までに会場最寄りの宿泊施設をご紹介いたしました。
   別紙、会場案内をご覧ください。

第1日目は　12時30分より
第2日目は　9時30分より

受付をいたします。当日、受付にて「**自治体名(議会名)**」と「**お名前**」を
スタッフにお伝え下さい。

会長はじめスタッフ一同皆様とお目にかかれる事を楽しみにしております。

敬具

受講確認票を確認の上、FAXください。

受講料のお振込みは10月7日(月)まで。

領収書の宛名を必ずご記入ください。

キャンセルの場合は必ずご連絡ください。

※ご連絡なくキャンセルされた場合、キャンセル料が発生します。

記

お振込先

振込口座: [redacted]

[redacted]

口座名: [redacted]

以上

自治体議会政策学会　事務局担当: [redacted]
電話:03-5227-1827　Fax:03-5227-1828

（様式8）

令和 6 年 10 月 17 日

会派名 浜松市政向上委員会
代表者　　鈴木 恵　　様

会派名　　浜松市政向上委員会
氏 名　　鈴木恵 [redacted]

出 張 届

下記により、政務活動のため、出張することになりましたので届け出ます。

記

1 出張者

鈴木 恵

2 期間及び出張先

令和 6 年 10 月 29 日（火）～30 日（水）

東京都千代田区都道府県会館

3 目的

自治体議会政策学会が主催する「自治政策講座」～誰も取り残さない社会、未来への自治体政策の講座を受ける。インクルーシブ教育、自治体の条例作り、地域の助け合いから生まれた地域通貨、自治体の DX と、今自治体に問われている課題、そしてその解決策について学ぶ。その学びの成果を 11 月議会に生かしていく。

視察依頼書送付願

令和　年　月　日

浜松市議会議長 様

会 派 名
代表者氏名　　㊞

上記のとおり、所属議員が政務活動のため、出張することになりましたので、視察先あての視察依頼書の送付をお願いします。

第24期 自治政策講座 in 東京Ⅱ
誰も取り残さない社会
未来への自治体政策



日時：2024年10月29日(火)・30日(水)　場所：都道府県会館(東京都千代田区)かオンライン(ZOOM)
お問合せ：自治体議会政策学会事務局　TEL 03-5227-1827

昨年、20歳代以下の若年層の自殺者数が前年から大幅増になった。若い世代の死因の1位が自殺という日本社会の特有な事態は続いている。「こども真ん中社会」の実現を目指すというが、子どもの心や人生は大切にされているだろうかと疑問が残る。コロナ禍に対応する中で、取り残された子どもや多くの人々がいた。今こそ、包摂政策の具体化が求められているのではないだろうか。

今回の講座は、誰も取り残さない包摂的な社会へ向け、様々な政策課題を「自治」を基礎にご講義いただきます。インクルーシブ教育の実践、自治体の条例づくり、地域助け合いから生まれた地域通貨、進む自治体のＤＸを分からないままにしない―など自治体議員に問われる課題について第一線の講師が実践に裏付けられた新たな視点と情報を提供します。ご参加お待ちします。

オンラインでも講座に参加可能、質問もできます
▼両日参加の方には修了証を発行

10月29日(火) 13:00~16:20

第1講義 13:00~14:30
誰もが通える学校づくり ―地域も変わる教育とは
木村 泰子(大阪市立大空小学校 初代校長)

公教育の理念とは今の多様な個性を持つすべての子どもの学習権を保障すること。学校は子どもの命を守る大きな使命をもっている。子どもが安心して学校に行ける、自分らしく学べる居場所を作ることが求められている。勉強ができる・できないで子どもに分断をもたらすことなく、自分で考えて自分で決めて自分で実行できる学校づくりが大切となる。講師が初代校長を務めた大阪市立大空小学校での実践から、公立校の生きた学びについてお話しいただく。

第2講義 14:50~16:20
自治を担う条例づくり ―立法分権時代の議会へ
礒崎 初仁(中央大学法学部 教授)

第1次分権改革(2000年施行)から25年目、人口減少、コロナ禍などもあって地方分権の機運が低下し、集権化が強まっている。これまでの分権改革は、法令の解釈運用の権限(行政権)を拡充する「行政分権」であったが、今後は制度政策をつくる権限(立法権)を拡充する「立法分権」に切り替えて、改革を進める必要がある。そのため、国に立法権(条例制定権)の拡充を求めるとともに、地方議会が条例制定権を行使して地域課題を解決し、実績を広げることが重要だ。この講義では、条例制定権のポイントを説明したうえで、議会・議員がこれをどう使いこなすか検討する。

10月30日(水) 10:00~14:30

第3講義 10:00~11:30
地域経済の活性と地域通貨 ―現状と課題
泉 留維(専修大学経済学部 教授)

1999年初頭には数えるほどしかなかった地域通貨が、2021年12月現在での延べ立ち上げ数が650以上となっている。開始して4年以内に約半数が地域通貨を中止し、10年以上稼働した地域通貨は全体の21%に過ぎない。地域通貨の研究を重ねてきた講師が、その黎明期から発展期までの経過と2020年以降の展望について、社会改革の可能性や、継続性、デジタル化などを含めて解説する。また地域の経済活動として、地域社会の繋がりを強める発行形態やその可能性と自治体の役割・課題を伺う。

第4講義 13:00~14:30
民主主義と自治を深化させるための自治体DXとは ―先進的事例や議論のポイント
内田 聖子(NPO法人アジア太平洋資料センター 共同代表)

デジタル化は民主主義の深化に役立っているのか。巨大IT企業がもたらす便利さと快適さの宣伝により、ITソフトやサービスの購入は拡大している。アプリ、SNSによる交流など生活に必要不可欠なインフラとして自治体も多用している。そして生成AIは市民社会になにをもたらすのか。日本のデジタル社会形成の大方針として政府が決定した「デジタル社会を形成するための10の基本原則、その中の①オープン・透明、②公平・倫理、③安全・安心は自治体においてどのように担保できるのかなどを解説する。また、各地の取り組みの現状や提言を紹介し議論の方向を示す。

前回オンライン配信講座のダイジェストを視聴→

自治体議会政策学会　〒112-0013 東京都文京区音羽1-5-8 イマジン第2オフィス
講師の略歴とお申込み欄は裏面にあります↗

講師略歴

10月29日(火)

第1講義 13:00~14:30 **木村 泰子**(きむら やすこ)
大阪市立大空小学校 初代校長

大阪市出身。武庫川学院女子短期大学教育学部保健体育学科卒業。学校を外に開き、教職員と子どもとともに地域の人々の協力を経て学校運営にあたるほか、特別な支援を必要とされる子どもも同じ教室でともに学び、育ち合う教育を具現化した。2015年春、45年間の教職歴をもって退職。主な著書に『お母さんを支える言葉』(清流出版/2024)、『「みんなの学校」をつくるために』(小国喜弘氏との共著/小学館/2019)

第2講義 14:50~16:20 **礒崎 初仁**(いそざき はつひと)
中央大学法学部 教授

1958年生まれ。1984年東京大学法学部卒業。1993年東京大学大学院法学政治学研究科修士課程修了。1985年神奈川県庁に入庁。農政部、土木部、福祉部等の業務を経験し、2002年に退職し、同年から中央大学法学部教授。主な著書に『知事と権力』(東信堂)、『自治体議員の政策づくり入門』(イマジン出版)、『自治体政策法務講義』(第一法規)、『立法分権のすすめ』(ぎょうせい)、『地方分権と条例』(第一法規)がある。

10月30日(水)

第3講義 10:00~11:30 **泉 留維**(いずみ るい)
専修大学経済学部 教授

1974年生まれ。東京大学大学院総合文化研究科博士後期課程単位取得満期退学。2004年、専修大学経済学部専任講師を経て、専修大学経済学部教授。専門分野は、エコロジー経済学、コモンズ論など。主著に『コモンズと地方自治』(共著、日本林業調査会)、『環境と公害:経済至上主義から命を育む経済へ』(共著、日本評論社)など。

第4講義 13:00~14:30 **内田 聖子**(うちだ しょうこ)
NPO法人アジア太平洋資料センター 共同代表

1993年慶應義塾大学文学部卒業。出版社勤務などを経て2001年よりNPO法人・アジア太平洋資料センター(PARC)、06年より現職。TPPウォッチの国際NGOネットワークに 属。世界各国の市民社会とともに活動。最新刊『デジタル・デモクラシー:ビッグ・テックを包囲するグローバル市民社会』(地平社)など。



お申し込み要領

1. 下記に必要事項をご記入のうえ、FAXでお申込みください。
   フォームからもお申込みいただけます。(下の赤QRコード参照)
2. お申し込み後に受講確認票をお送りします。
   受講内容のご確認と受講料のお振込をお願いいたします。

受講料(会場・オンライン共通)

2日間参加:30,000円
1日間参加:20,000円

24k12-FORM

申し込み用紙 FAX:03-5227-1828 第24期 自治政策講座 in 東京Ⅱ

▼氏名(フリガナ)	▼電話	▼FAX
	▼E-mail	
▼住所 〒 −		▼所属(議会・団体等)

参加方法と申込日に☑を入れてください				
全日程参加	☐ 10月29日(火)~30日(水)	☐ 会場 ☐ ZOOM	1日のみ	☐ 10月29日(火) ☐ 会場 ☐ ZOOM
				☐ 10月30日(水) ☐ 会場 ☐ ZOOM
何で知りましたか?	☐ 自宅の郵便物 ☐ 学会からのメール ☐ 議会事務局の案内 ☐ 知人・同僚からの紹介 ☐ 雑誌広告 ☐ その他( )			
備考				

主催・お問い合せ先:自治体議会政策学会事務局 TEL 03-5227-1827 copa@copa-web.net (担当:[redacted])

自治政策講座受講のご案内(受講確認票及びお振込先)

鈴木 恵 様

拝啓

残暑の候、お元気でご活躍のこととお慶び申し上げます。

この度は、自治政策講座へのお申し込みいただきありがとうございます。

お申込みの講座に関する受講内容の確認のご案内と、受講料のお振込みのお願いです。

1. **受講料は**右記口座へ期限までにお振込みください。
2. 裏面の**受講確認票に**必要事項を記入の上、**領収書の宛名をご記入いただき**、ファクシミリ・郵送・メール等で**お早めにご返送ください**。
   (※裏面撮影データをメールで送信も可能です。)
   または、**QRコードからフォームでご回答**ください。
3. 当日、受付にて領収書をお渡しします。
   裏面にて領収書のお宛名を必ずご記載ください。
4. **キャンセルの場合**は必ず開催日の**3日前まで**にご連絡ください。
5. 宿泊希望の方は、直接宿泊先施設にご予約ください。
   ご参考までに会場最寄りの宿泊施設をご紹介いたしました。
   別紙、会場案内をご覧ください。

第1日目は　12時30分より
第2日目は　9時30分より

受付をいたします。当日、受付にて「**自治体名(議会名)**」と「**お名前**」を
スタッフにお伝え下さい。

会長はじめスタッフ一同皆様とお目にかかれる事を楽しみにしております。

敬具

受講確認票を確認の上、FAXください。

受講料のお振込みは10月7日(月)まで。

領収書の宛名を必ずご記入ください。

キャンセルの場合は必ずご連絡ください。

※ご連絡なくキャンセルされた場合、キャンセル料が発生します。

記

お振込先

振込口座: [redacted]

[redacted]

口座名: [redacted]

以上

自治体議会政策学会　事務局担当: [redacted]
電話:03-5227-1827　Fax:03-5227-1828

ご記入後、FAX:03-5227-1828までご返信ください。

2024年 第24期 自治政策講座 in 東京2
◇ 受 講 確 認 票 ◇

自治体議会政策学会
〒112-00013 東京都文京区音羽1-5-8　イマジン第2オフィス
TEL: 03-5227-1827　FAX:03-5227-1828

貴方様の受講希望内容は次の通りです。
ご確認いただき、項目毎の□に✓をご記入の上、FAX・郵送にてご返信下さい。

□1. 日程

第1日目　10月29日(火)　会場
第2日目　10月30日(水)　会場

□2. 受講料([redacted])

¥30,000 円[講座2日間]

□3. お名前、ご連絡先のご確認

すずき めぐみ
お名前:鈴木 恵 様 ／ 所属名:浜松市議会

ご連絡先:〒 静岡県浜松市中央区曳馬6-5-17

TEL: 053-431-1511 ／ FAX:

E-mail:[redacted]

□4. 領収書について

☆領収書の御宛名を下線部にお書きください。(当日、受付にてお渡し致します。)

御宛名　浜松市向上委員会

注:ご指定のない場合は、御宛名に議会名とお名前を記載した領収書となります。
団体でお申込みの場合、個別に領収書が必要な方はその旨をご記載下さい。
ご指定がない場合は、団体で1枚となります。

□5. 連絡事項、訂正箇所などをご記入ください

例:日程変更・キャンセル・団体でまとめてお振込の際の口座名義など

□6. キャンセルについて

キャンセルが発生した場合、左記日程のキャンセル日に×をしFAX等にてお知らせ下さい。
ご連絡がない場合、キャンセル料が発生します。

□7. 団体でのお申込みについて

1)団体申込みの場合、受講確認票は訂正がなければ代表の方1枚のご返信で構いません。
訂正がある場合は、代表者と訂正される方の分をお送り下さい。
個別に領収書が必要な方はその旨を 5.にご記載下さい。

2)領収書の個別発行のご指定がない場合は、団体で1枚となります。

3)まとめて入金される場合は、振込人名義を5.にご記載ください。

ご記入後、FAX:03-5227-1828までFAXもしくは写メで
copa@copa-web.net までご返信ください。QRコードからフォーム
へアクセスしてもご回答いただけます。

（様式 10）

令和　6年　11月　　5日提出	
（あて先）　会派名　浜松市政向上委員会 代表者　鈴木　恵	
報　告　書	
出張年月日	令和 6 年 10 月 29 日（火）～30 日（水）
出　張　先	東京都千代田区　都道府県会館
出張の理由	自治体議会政策学会が主催する「自治政策講座」～誰も取り残さない社会、未来への自治体政策の講座を受ける。インクルーシブ教育、自治体の条例作り、地域の助け合いから生まれた地域通貨、自治体の DX と、今自治体に問われている課題、そしてその解決策について学ぶ。その学びの成果を 11 月議会に生かしていく。
出　張　者 氏　名　印	鈴木 恵 [redacted]
（出張の顛末） 別紙参照	
（備考）	

自治政策講座 in 東京報告

浜松市政向上委員会　鈴木恵

2024 年 10 月 29 日～30 日　都道府県開会（東京都千代田区）

テーマ＜誰も取り残さない社会　未来の自治体政策＞

＜講座の概要＞

第1講義　誰もが通う学校づくり～地域も変わる教育とは～

木村泰子　（元大阪市立大空小学校校長）

地域の学校って誰のもの？校長先生のものではない。地域、みんなのものだ

2006 年みんなが作る　みんなの学校として、映画になった。

大空小学校ができるまでの 20 年間、被差別差別がある地域名が学校名になっていたことなどから地域が開校に反対していた。

学校の最上位の目的は「すべての子どもの学習権を保障する」 だが、今は学力に変わってしまっている。ちなみに、大空小学校の子どもたちの学力は高かった

保護者をすべての子どものサポーターになってもらった。

大事にしていたことは、文句を意見に変える、学校はあるものではなくつくるもの

すべての人が当事者になる、人のせいにしない学校づくりを目指していら。

子どもを変えようとするのは難しい。まずは教職員が変わっていくこと

地域の人に関わってもらうことが大事で、まずは 1 人からのスタートした。

「できる人ができるときに　無理なく　楽しく」

教師　人の力を活用する力を持つことが大事。

殴っている子に大丈夫？何に困っているの？私にできることある？と聞くこと。

トラブルを生きる力にする



第2講座　自治を担う条例づくり

～立法分権時代の議会へ～礒先初仁（中央大学法学部　教授）

1、 分権改革 30 年と「立法分権」の可能性
地方創生のためには、地方分権が必要。
地方自治法は変わったが、個別法（都市計画法、介護保険法など）が改正されていない。法令の過剰過密がさらに進んでいて、縦割りの発想が強い
自治体合併、財政危機、削減で、地域の課題に向き合う余裕がない、拡充した権限を活かしきれていない
現在、提案募集・手上げ方式となり、自治体をネタ探しに走らせ、地方創生は補助金を目指していくように変容した。

2、 地方議会の権限と政策形成機能
今後の議会は、政策形成型議会、協働型議会へ

3、 議員による条例づくりのポイント
条例づくりの2本柱は、適法な条例をつくる、すぐれた条例をつくる
適法な条例をつくる

① 憲法に反しないこと（人権の過度の制限でないこと）
② 当該自治体の事務に関するもの
③ 法律の範囲内であること
　実質的な矛盾抵触があるか否か
すぐれた条例をつくる
評価基準は、必要性、有効性、効率性、公平性、協働性、適法性

条例でできる行政手法は以下の８点

規制的手法、誘導的手法、支援的手法、調整的手法、計画的手法、実効性確保手法、財源調達手法、協働促進手法



第３講義　地域経済の活性と地域通貨～現状と課題～

専修大学経済学部　泉留維

地域通貨の形態や導入目的は非常に多彩
地域通貨の導入目的として
1、 地域、コミュニティ内の人と人や、人とお店などの「つながり」を強くする

＊ソーシャル・キャピタル論

2、 個々人の地域活動や社会貢献活動等への参加意欲を高める

3、 地域の外に購買力がダダ漏れになるのを緩和する

NEF の漏れバケツ論

エネルギーと食品が漏れている。地域に戻していく

利他的な動機と利己的欲求、うまい組み合わせを作っていくことが地域通貨で重要だが、それが難しい。また、プロセスデザイン、プロモーションが難しい

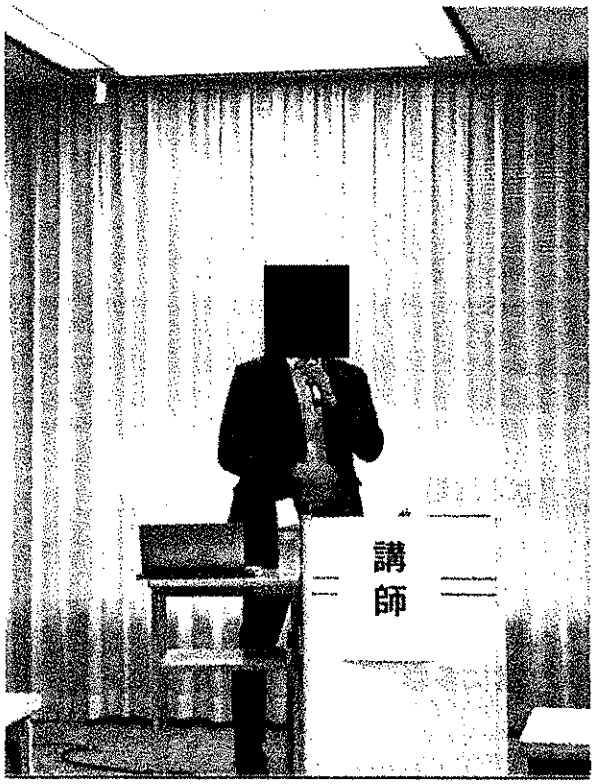
日本の地域通貨は 2001 年からブームになり、2005 年 2006 年がピークとなったがその後しぼんでいった。話題先行で、導入しても目に見える結果が出なかった。思っていた以上に手間がかかり、推進・調整役がいなくなった

2016 年から徐々にデジタル地域通貨の導入が増えてきている

広義のデジタル地域通貨として、デジタル商品券、デジタル地域ポイントがあり、その

60%に自治体が関与している

資金と人材が課題



第4講座　民主主義と自治を深化させるための自治体 DX とは

公正で倫理的な技術を求めて　内田聖子（PARC 共同代表）

民主主義を深化させるものとしてのデジタル化にしなくてはならない

しかし、日本は 2024 年に IT 最先端国家になっていない。

日本のデジタル関連政策が持つ側面として、3点

成長戦略・産業政策としてのデジタル化

人口減少への対応・スマート自治体を目指すデジタル化

権力による監視・監視の強化としてデジタル化

そもそもの「デジタル社会」の目的は、政府の透明性、市民の参加、官民の連携

日本政府のデジタル政策に弱い視点、理念

政府の透明性、説明責任、情報共有を通じた熟議と民主主義の深化、自己決定に基づく政治参加・住民自治、パワーシフトを通じた人々の力と権力の均衡

＊参考　スペインのバルセロナでは、データは市民のものとしている

自治体 D X 以前に山積みする日本のデジタル政策問題

マイナ保険証問題

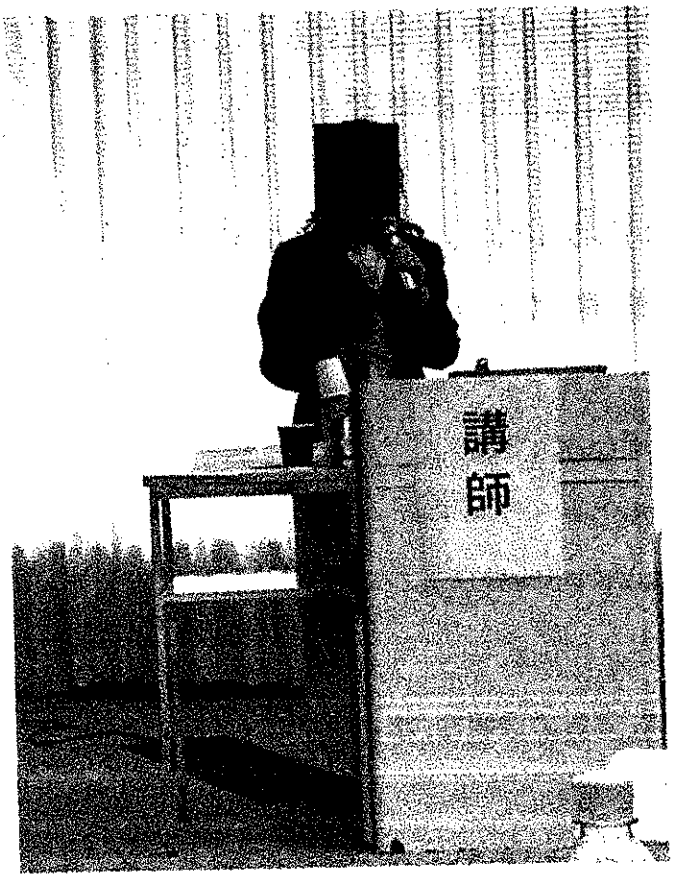
基幹業務システムの統一・標準化問題、政令市すべて 2025 年までには無理ですと言っている

スケジュールが無理、開発する企業が限られている、大都市ほど困難。

埼玉県により地方自治体のデジタル大臣への要望、東京都も

ランニングコストがかかってしまう（参議院決算委員会 4 月 15 日、石垣）

2025 年までにできないと補助金がでない



＜講座を受けて＞

多彩な講師、講座内容に、大いに刺激を受けることができた。

木村先生の話の中の、学校の最上位の目的は「すべての子どもの学習権を保障する」だが、今は学力に変わってしまっているということは重要だ。最近、クラスから飛び出してしまう子などに、すぐに支援級に言って欲しいと言われると聞いている。大空小学校では、障害があってもすべての子どもを丸ごと受け入れ、先生も地域の人の力を借りて、対応していた。今一度、学校のあり方を考えていきたい。

条例づくりについては、浜松市議会でも条例づくりの関心を持つようになってきているので、その前段階として、条例の評価の仕方を学べたことは有意義であった。

地域通貨については、デジタル商品券、デジタル地域ポイントも広義の地域通貨と捉えられていることがわかった。浜松市でもコロナ禍でデジタル商品券、デジタル地域ポイントが普及したが、その場合の手数料がどれだけだったのか、そして今後デジタ

ル商品券、デジタル地域ポイントがどう展開するのか見極めていきたい。

自治体 DX については、目的と現状のミスマッチを理解することができた。海外の事例を紹介していたが、時間が足りず、もっと詳しく知りたいと思った。内田さんの本を購入したので、さらに学んで、市政に役立てていきたい。

（様式６）

旅　費　支　払　証　明　書

出張年月日	令和６年１０月２９日～３０日
出張先（目的）	東京都千代田区　都道府県会館

出張者氏名	鈴木　恵			

旅　費　額　内　訳

項　目	金　額	備　考
交通費	１５，８２０円	詳細は下記および別紙添付
日　当	３，０００円	@１，５００円×１人×２日
宿泊費	１４，８００円	@１４，８００円×１人×１泊
合　計	３３，６２０円	

		百	拾	万	千	百	拾	円
金　額			¥	3	3	6	2	0

上記の金額を政務活動費として支払ったことを証明します。

令和６年１１月６日

会　派　名　　浜松市政向上委員会

代　表　者　　鈴木　恵[redacted]

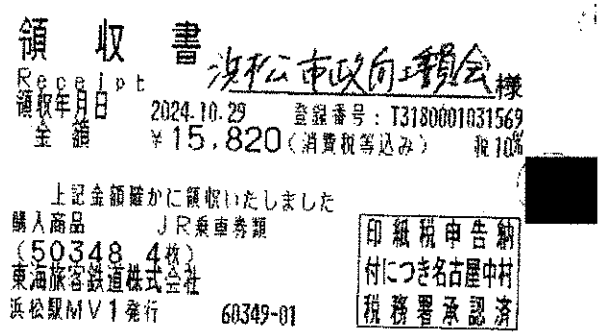
（署名又は記名押印をしてください。）

〈詳細〉

JR新幹線　浜松駅～東京駅（７，９１０円×２）×１人＝１５，８２０円

（様式６）

〈別紙　領収書添付欄　1〉



領　収　書
Ｒｅｃｅｉｐｔ　浜松市政向上期会　様
領収年月日　2024.10.29　登録番号：T3180001031569
金　額　￥15,820（消費税等込み）　税10%

上記金額確かに領収いたしました
購入商品　ＪＲ乗車券類
（50348　4枚）
東海旅客鉄道株式会社
浜松駅ＭＶ１発行　60349-01

印紙税申告納
付につき名古屋中村
税務署承認済

（様式8）

令和 7年 1月 6日

会派名 浜松市政向上委員会
代表者　　鈴木 恵　　様

会派名　　浜松市政向上委員会
氏 名　　鈴木恵 [redacted]

出 張 届

下記により、政務活動のため、出張することになりましたので届け出ます。

記

1 出張者

鈴木 恵

2 期間及び出張先

令和7年1月19日(日)

静岡労政会館(静岡市)

3 目的

「障害のある子どものアドボカシー」

イギリスや日本で障害のある子どものアドボカシーを研究、実践を続けてきている堀正嗣さんから、障害のある子どものアドボカシーはどうあるべきかを学び、浜松のアドボカシーに生かしていきたい。

視察依頼書送付願

令和　年　月　日

浜松市議会議長 様

会 派 名
代表者氏名　　㊞

上記のとおり、所属議員が政務活動のため、出張することになりましたので、視察先あての視察依頼書の送付をお願いします。



障害のある子どものアドボカシー

アドボカシーとは、社会生活や日常生活における意思決定の際に、本人が意見や思いを表現できるように支援することです。アドボケイトは、その実践をする人ですが、最終的には、その人自身が表現することを大切にしています。

幼い子ども、障害のある子どもの声をどのように聴き意思決定に反映させるかということに、難しさを感じている人もいると思います。そこで、長年、イギリスや日本で、障害児のアドボカシーについて研究、実践を続けてきた堀正嗣さんを静岡にお呼びして、じっくり学んだり、話したりする機会をもちたいと思います。ぜひご参加ください。

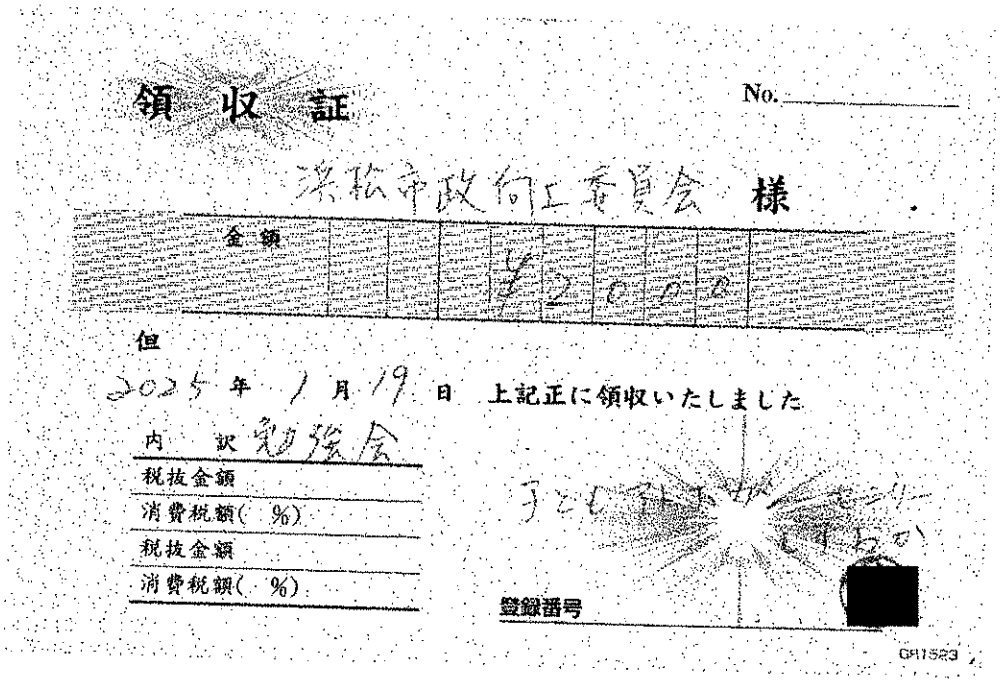
日時：２０２５年1月１９日（日）１３：４５～１６：１５（１３：３０開場）

講師：堀正嗣（熊本学園大学教授／子どもアドボカシー学会会長）
　　会場にお越し下さいます
場所：静岡労政会館 会場参加先着90名
（オンライン併用で開催しますがプロ環境ではないため対面を推奨します）
参加費：２０００円（子どもアドボカシーセンターしずおか正会員は無料、賛助会員１０００円）
プログラム：講演・質疑応答・グループワーク等
お申込先：https://0119adv.peatix.com　→お申込みQRコード→→→
主催：子どもアドボカシーセンターしずおか／静岡大学白井千晶研究室

子どもアドボカシーセンターしずおかへの会員登録をご希望の方は以下からお申込み下さい。



アドボカシー学会長・堀正嗣さんによる貴重な勉強会を実施します



領収証

No.

浜松市政向上委員会 様

金額				¥	2	0	0	0	

但

2025 年 1 月 19 日 上記正に領収いたしました

内訳 勉強会
税抜金額
消費税額(%)
税抜金額
消費税額(%)

[redacted]

登録番号

GR1523

（様式 10）

令和 7 年　1 月　　20 日提出	
（あて先）　会派名　浜松市政向上委員会 代表者　鈴木　恵	
報　告　書	
出張年月日	令和 7 年 1 月 19 日（日）
出　張　先	静岡市労政会館
出張の理由	「障害のある子どものアドボカシー」 イギリスや日本で障害のある子どものアドボカシーを研究、実践を続けてきている堀正嗣さんから、障害のある子どものアドボカシーはどうあるべきかを学び、浜松のアドボカシーに生かしていきたい。
出　張　者 氏　名　印	鈴木 恵 [redacted]
（出張の顛末） 別紙参照	
（備考）	

「障害のある子どものアドボカシー」

2025.1.19

「子どもアドボカシーセンターしずおか」主催の「障害のある子どものアドボカシー」についての講演に伺った。

イギリスや日本で障害のある子どものアドボカシーを研究、実践を続けてきている堀正嗣さん（まさに前日イギリスから帰ってきたばかりだった）から、障害のある子どものアドボカシーはどうあるべきかの話を伺った。

アドボカシーとは、社会生活や日常生活における意思決定の際に、本人が意見や思いを表現できるように支援すること。アドボケイトは、意見形成支援、意見聴取支援、意見実現支援という役割があり、その人の側に立って、その人の思いや意見を表現できるようにサポートしたり、環境をつくったりすること。

「障害のある子ども」を取り出した勉強テーマだったが、それは、ハウツーやテクニックの勉強ではなくて、「障害」という言葉との向き合い方や理念を問うものであった。

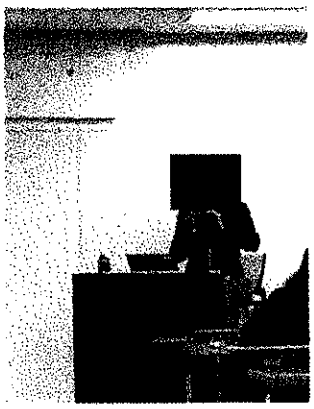
＜感想＞

障害があるから「声」を聴くのが難しい、と決めつけることは、二次三次的に差別を進めてしまうことになると気がつくことができた。

障がいがあっても、なくっても、子どもの声に耳を傾けることが大切。

公園のあと、グループに分かれて、感想などを話し合った。浜松からの参加者も多く、アドボケイトに関心のある方と出会えたことも大きかった。

今後、児童相談所関連だけでなく、放課後児童デイサービスや発達支援学級などでもアドボケイトできる人が必要になってくるだろう。浜松での人材育成が早期に必要だ。



熊本学園大学　社会福祉学部

教　授　堀　　正　嗣

〒862-8680 熊本市中央区大江２丁目５番１号
TEL.096(364)5161(代表)
FAX [redacted]
E-mail [redacted]

（様式６）

旅　費　支　払　証　明　書

出張年月日	令和７年１月１９日
出張先（目的）	静岡労政会館（静岡市）

出張者氏名	鈴木　恵			

旅　費　額　内　訳

項　目	金　額	備　考
交通費	4，660円	詳細は下記および別紙添付
日当	1，500円	@1，500円×１人×１日
宿泊費	円	@14，800円×１人×　泊
合　計	6，160円	

金　額		百	拾	万	千	百	拾	円
				¥	6	1	6	0

上記の金額を政務活動費として支払ったことを証明します。

令和７年１月２２日

会　派　名　　浜松市政向上委員会

代　表　者　　鈴木　恵[redacted]

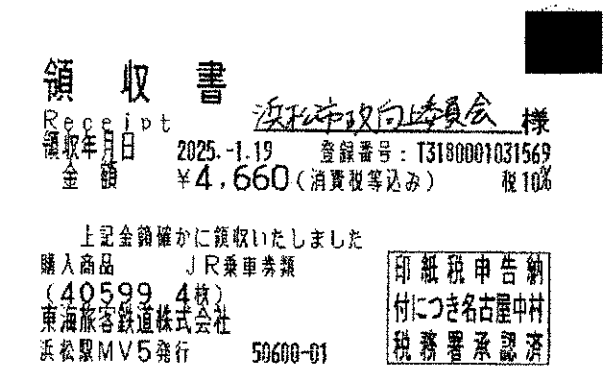
（署名又は記名押印をしてください。）

〈詳細〉

JR 新幹線　浜松駅～静岡駅（2,330 円×２）×１人＝4,660 円

（様式６）

<別紙　領収書添付欄　１>



領　収　書

Receipt　浜松市政向上委員会　様

領収年月日　2025.-1.19　登録番号：T3180001031569

金　額　￥4,660（消費税等込み）　税10%

上記金額確かに領収いたしました

購入商品　ＪＲ乗車券類

（40599　4枚）

東海旅客鉄道株式会社

浜松駅ＭＶ５発行　50600-01

印紙税申告納付につき名古屋中村税務署承認済

（様式8）

令和 7年 1月 6日

会派名 浜松市政向上委員会
代表者　　鈴木 恵　　様

会派名　　浜松市政向上委員会
氏 名　　鈴木恵 [redacted]

出 張 届

下記により、政務活動のため、出張することになりましたので届け出ます。

記

1 出張者

鈴木 恵

2 期間及び出張先

令和7年1月7日(火)

富士市交流プラザ

3 目的

「防災研修会＆シンポジウム」助け合いジャパンの石川淳哉さんから助け合いジャパンの活動についてお話、減災と男女共同参画研修センター 共同代表の浅野幸子さんから被災地の実情、特に高齢者、障害者、こども、女性などの視点からの報告、その後富士市の危機管理課の太田さんを含めたパネルディスカッションに参加し、今後災害対応について学ぶ。

県内の女性議員がメンバーのなないろの風の企画のため、県内の災害対応の情報交換も期待できる。

視察依頼書送付願

令和　年　月　日

浜松市議会議長 様

会 派 名
代表者氏名　　㊞

上記のとおり、所属議員が政務活動のため、出張することになりましたので、視察先あての視察依頼書の送付をお願いします。



防災研修会 &シンポジウム

『助けあいジャパンの歩みとこれから…』
講演：石川淳哉氏
助けあいジャパン共同代表理事



避難生活で命と健康、本当に守れますか？
～被災地の実情から学ぼう！高齢者・障害者・
子ども・女性などの視点から～

講演：浅野幸子氏
減災と男女共同参画　研修推進センター　共同代表
早稲田大学地域社会と危機管理研究所 招聘研究員

２０２５年１月７日（水）
１６：００～１８：００
富士交流プラザ　第１会議室

参加お申し込みは　QRコードから
先着　５０名様
主催：なないろの風　事務局
kikasete@s-kikuno.com

（様式10）

令和７年　１月　　20日提出	
（あて先）　会派名　浜松市政向上委員会 代表者　鈴木　恵	
報　告　書	
出張年月日	令和７年１月７日（火）
出　張　先	富士市交流プラザ
出張の理由	「防災研修会＆シンポジウム」助け合いジャパンの石川淳哉さんから助け合いジャパンの活動についてお話、減災と男女共同参画研修センター　共同代表の浅野幸子さんから被災地の実情、特に高齢者、障害者、こども、女性などの視点からの報告、その後富士市の危機管理課の太田さんを含めたパネルディスカッションに参加し、今後災害対応について学ぶ。 県内の女性議員がメンバーのなないろの風の企画のため、県内の災害対応の情報交換も期待できる。
出　張　者 氏　名　印	鈴木 恵[redacted]
（出張の顛末） 別紙参照	
（備考）	

「防災研修会＆シンポジウム」in富士　報告

2025.1.7

「防災研修会＆シンポジウム」in富士に参加した。

まず、助け合いジャパンの石川淳哉さんから助け合いジャパンの活動についてお話があった。助け合いジャパンでは、みんな元気になるトイレを進めている。「みんな元気になるトイレ」は、富士市から始まり、現在25自治体がトイレトレーラー、トイレトラック（トレーラー型２２台　トラック型３台）をネットワークして、今後10自治体が加わる予定だ。

能登半島地震時では、自治体職員が庁舎に来ることができたのが３日目で、５割だった。そのため、外部の力必要。

輪島市立輪島病院も同じような状態で、医療スタッフはオムツをして診療に当たっていたそうだ。便秘や膀胱炎になる方もいた。１月５日にトイレトレーラーが行った時には、大歓迎されたそうだ。医療現場は感染症対策が重要で、トイレ外がにあることで院内の衛生状態を保つことができ、安心して利用することが可能であった。一台で125回分。

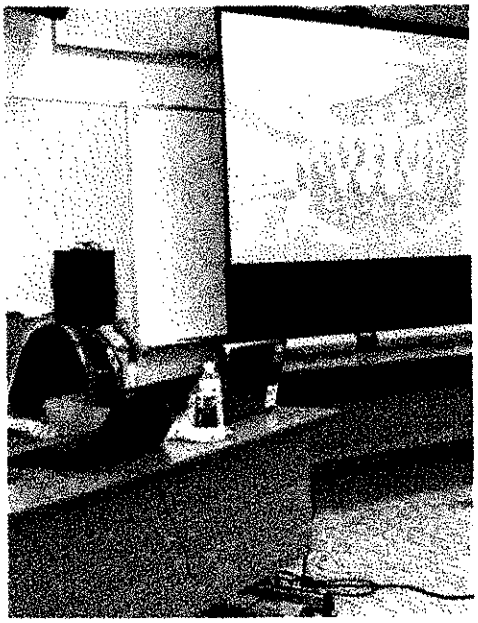
トイレトレーラーの金額は、2600万円で、ふるさと納税型クラウドファンディングを利用することができる。富士市はイベントなどで年間５０回日常使いをしている実績がある

ランニングコストは平常時のイベントの中でコストとして、緊急時は災害救助法でカバーしている。

車検は毎年１回、半年点検、保険代、20万円。利用後は汲み取りか、下水道に流すかとなる。

防災ワーケーションを進めたらどうかの提案あり。　事前に出会うきっかけがあることで、災害時に外部の力を借りやすくなる。





避難生活で命と健康、本当に守れますか？

～被災地の実情から学ぼう！

高齢者・障害者・こども・女性などの視点から～

減災と男女共同参画　研修推進センター共同代表の浅野幸子さんから話を伺った。

災害時の福祉課題は、平時の福祉課題と重なっている。

能登半島では、もともと20代の女性が関われる婦人科がない。オンライン診療などの整備が必要だ。

復興するに当たって、女性たちの仕事の再生が必要。

指定避難所　それ以外の避難所の機能を棲み分けが必要。

別府市では、インクルーシブ防災地区として、防災計画を立てている。

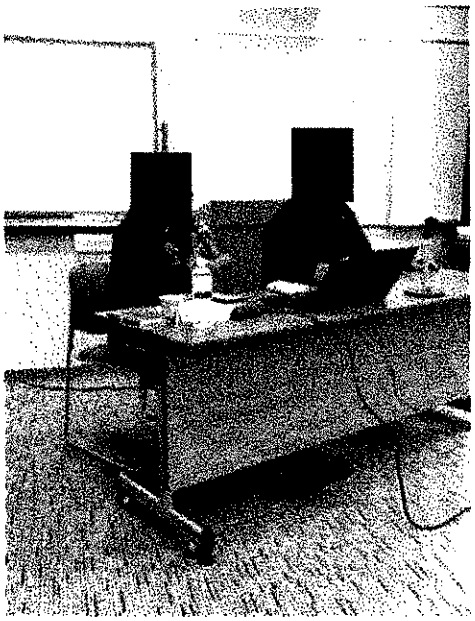
女性も多様だ　特に違いを活かしたネットワークづくりをして行こう。

＜感想＞

助け合いジャパンの石川さんの話から、災害時のトイレの大切さを再確認した。自治体がネットワークを組んでいることで、助け合いの輪が広がっていることは大きい。浜松市でもトイレトレーラー、またはトイレトラックの導入を考えてもらえないか、提案したい。

平時の福祉課題が災害時に浮き出てくるという浅野さんの話から、浜松市でも地域ごとの福祉課題を解決していくことを進めていかないと気づかせてくれた。特に中山間地域の医療、介護、子育ての課題は待ったなしだ。





2025年1月7日

なないろの風
防災シンポジュウム

次第

総合司会 [redacted]

1．はじめの挨拶　　なないろの風　代表 [redacted]

2．講演
「助けあいジャパンの歩みとこれから」

助け合いジャパン共同代表　　石川淳哉氏

3．講演
「避難生活で命と健康、本当に守れますか？～被災地の実情から学ぼう！
高齢者・障害者・子ども・女性などの視点から～」

減災と男女共同参画　研修推進センター　共同代表
早稲田大学地域社会と危機管理研究所　招聘研究員
（一社）災害協働サポート東京　理事
博士　（公共政策学）　　浅野幸子氏

4．パネルディスカッション
「防災・減災」

パネラー　　石川淳哉氏
浅野幸子氏
コーディネーター　　太田智久氏　（富士市役所防災危機管理課）

5．おわりの挨拶　　なないろの風　副代表 [redacted]

庶務連絡

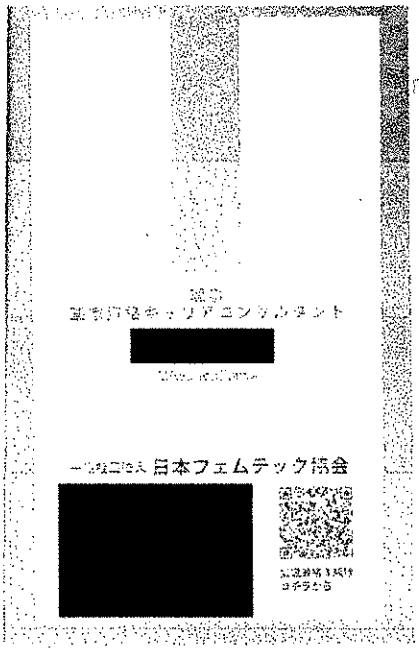


共同代表理事
石川 淳哉 | Junya Ishikawa

mobile [redacted]
e-mail [redacted]
〒412-0024
静岡県御殿場市東山990御殿場コート4J
一般社団法人助けあいジャパン

助けあいジャパン
法人HP

助けあいジャパン



減災と男女共同参画　研修推進センター　共同代表
早稲田大学地域社会と危機管理研究所　招聘研究員
㈱ ［　都市計画研究所　研究員

博士（公共政策学）　浅野 幸子
Asano　Sachiko

〒170-0005　東京都豊島区南大塚 2-11-10 ミモザビル３階
（減災と男女共同参画　研修推進センター 事務所）

TEL [redacted]　E-mail [redacted]

（様式６）

旅　費　支　払　証　明　書

出張年月日	令和７年１月７日
出張先（目的）	富士市交流プラザ

出張者氏名	鈴木　恵			

旅　費　額　内　訳

項　目	金　額	備　考
交通費	５，９４０円	詳細は下記および別紙添付
日　当	１，５００円	@１，５００円×１人×１日
宿泊費	円	@１４，８００円×１人×　泊
合　計	７，４４０円	

金　額		百	拾	万	千	百	拾	円
				¥	7	4	4	0

上記の金額を政務活動費として支払ったことを証明します。

令和７年１月２２日

会　派　名　　浜松市政向上委員会

代　表　者　　鈴木　恵[redacted]

（署名又は記名押印をしてください。）

〈詳細〉

JR 浜松駅～静岡駅～富士駅（2,970 円×２）×１人＝5,940 円

※浜松駅～静岡駅間は新幹線（自由席 990 円×２）を利用

（様式６）

〈別紙　領収書添付欄　１〉

領　収　書

Receipt　浜松市政向上委員会　様

領収年月日　2025 -1-7　登録番号：T3180001031569

金　額　¥5,940（消費税等込み）　税10%

上記金額確かに領収いたしました

購入商品　ＪＲ乗車券類

（20611　4枚）

東海旅客鉄道株式会社

浜松駅ＭＶ４発行　30612-01

印紙税申告納付につき名古屋中村税務署承認済

領収データ - 2025年02月07日（金）・08（土）湘南勉強会in茅ヶ崎「海、環境、そしてデジタル行政： 地方自治の新たな可能性と市民力」

発行日	2025年1月20日
宛名	浜松市政向上委員会
合計	¥6,000
但し	湘南勉強会会費
注文日	2025年1月20日
注文番号	28872168
主催者	ローカル・マニフェスト推進連盟 (ローカル・マニフェスト推進連盟)
イベント名	2025年02月07日（金）・08日（土）湘南勉強会in茅ヶ崎「海、環境、そしてデジタル行政： 地方自治の新たな可能性と市民力」

Peatix

（様式8）

令和 7 年 2 月 5 日

会派名 浜松市政向上委員会
代表者　　鈴木 恵　　様

会派名　　浜松市政向上委員会
氏 名　　鈴木恵 [redacted]

出 張 届

下記により、政務活動のため、出張することになりましたので届け出ます。

記

1 出張者

鈴木 恵

2 期間及び出張先

令和 7 年 2 月 7 日（金） ～8 日（土）

茅ヶ崎市民文化会館

3 目的

ローカル・マニュフェスト推進連盟の勉強会に参加する。茅ヶ崎市の自治体 DX について、マニュフェスト大賞の優秀賞を受賞した団体の先進事例の発表から学ぶ。先進的な自治体や議会の事例を学び、浜松市に活かしていく。

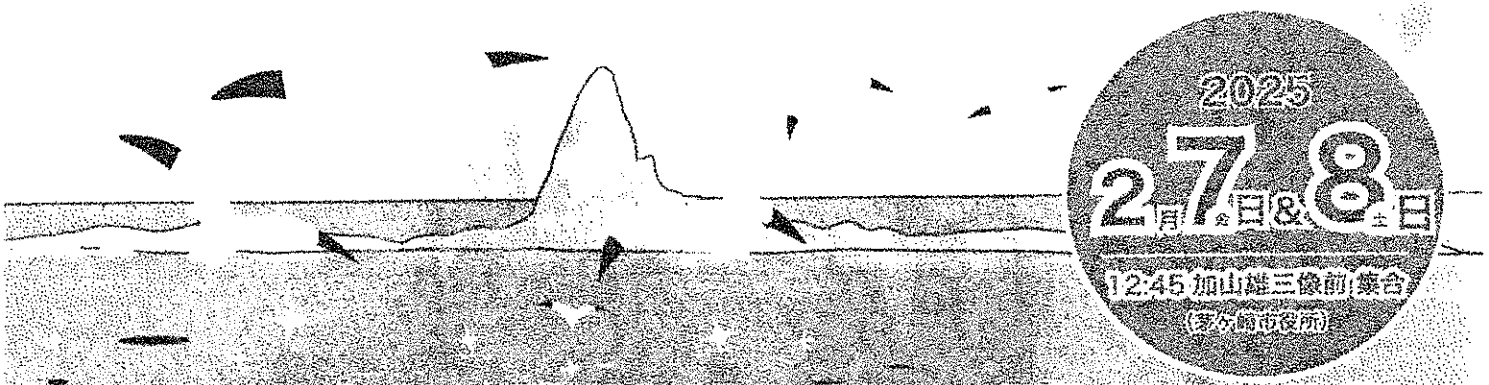
視察依頼書送付願

令和　年　月　日

浜松市議会議長 様

会 派 名
代表者氏名　　㊞

上記のとおり、所属議員が政務活動のため、出張することになりましたので、視察先あての視察依頼書の送付をお願いします。



2025
2月7日(金)&8日(土)
12:45 加山雄三像前集合
(茅ヶ崎市役所)

ローカル・マニフェスト推進連盟 湘南勉強会 in 茅ヶ崎

海、環境、そしてデジタル行政

地方自治の新たな可能性と市民力

現地視察やマニフェスト大賞優秀賞事例発表など、豊富なプログラムをご用意しています。
今年マニフェスト大賞審査委員会特別賞（シティズンシップ部門）を受賞した「まちのBAR」の体験ツアー（要別途お申し込み）もございます。茅ヶ崎の地での先進事例の学び合いにぜひご参加ください。

1日目（12:45-17:00）

12:45
集合 ／加山雄三像前（茅ヶ崎市役所）

13:00-13:15
議場見学 ／茅ヶ崎市議会

現地視察 13:25-13:40
神奈川県内第1号！自治体窓口DXSaaS「書かない窓口」の運用 ／茅ヶ崎市役所本庁舎1階フロア

研修会場 14:00
開会挨拶 ／ローカル・マニフェスト推進連盟共同代表 川上 文浩

講演 14:10-14:40
地方議会から地域を変え、茅ヶ崎から日本を変える ／早稲田大学名誉教授 早稲田大学マニフェスト研究所顧問 北川 正恭

事例発表 (1) 14:40-15:20
「茅ヶ崎市の自治体DXの取り組みについて」～書かない窓口・電子契約書～ ／発表者調整中

事例発表 (2) 15:20-16:00
「茅ヶ崎海岸侵食対策事業」～環境に配慮した養浜事業について～ ／発表者調整中

事例発表 (3) 16:10-16:30
「ちがさきこども選挙」～こどもの、こどもによる、こどものための選挙。～ ／発表者調整中

事例発表 (4) 16:30-16:50
「まちのBAR」～もしも市議が、BARのマスターになったら？～ ／発表者調整中

先着20名様 1階総合受付後 参加申込締切
まちのBAR
時 間 2月7日(金) 18:00-19:30 (目処)
参加費 2,200円 (税込) ※ワンドリンク・ワンプレート付
会 場：茅ヶ崎カフェ (茅ヶ崎市役所本庁舎内)

2日目（09:00-12:00）

特別講演 09:00-09:40
自治体DXの展望について(仮) ／デジタル大臣 発表者調整中 河野 太郎

事例発表 (5) 09:40-09:55
「藤沢型政策検討会議」～究極の議員間討議を実現！～ ／藤沢市議会議員 有賀 正義

事例発表 (6) 09:55-10:10
広報改革のその先へ～議会報の表紙条例制定・多様な情報媒体活用で議会の扉を開く～ ／開成町議会 発表者調整中

事例発表 (7) 10:10-10:25
「小さな町の大きな再開プロジェクト」～真鶴町が挑む公共施設の最適化～ ／真鶴町長 小林 伸行

事例発表 (8) 10:35-10:50
「よこはま自民党ローカルマニフェストで市民と約束した「こども条例」の制定・その後」 ／横浜市会議員 黒川 勝

パネルディスカッション 10:50-12:00
「神奈川発！相模湾の海岸美化活動」～日本で唯一、県内全域の自然海岸美化専門体制を確立～
／一般（公財）かながわ海岸美化財団 代表理事・大磯町長 大磯町観光協会理事長 松浦 治美 ほか調整中

● 説明後、現地説明を受けるためサザン通りを経て、茅ヶ崎海岸へ徒歩移動します。(25分程度)
● その後、シーサイドランチを経て、茅ヶ崎海岸で解散予定

日時 2025年2月7日（金）12:45～17:00
8日（土）09:00～12:00

会場 集合場所 加山雄三像前（茅ヶ崎市役所）
研修会場 茅ヶ崎市民文化会館4階大会議室

参加費 議員 ¥6,000（税込）
自治体職員・市民 ¥3,000（税込）
学生無料 いずれも2日間合計の金額です

定員 先着80名様 会場のみ。オンライン配信ございません

申込 2025年2月6日（木）正午の申込期日までに
ウェブサイト（右下QR）より https://2025020708.peatix.com/
議会事務で取りまとめていただく場合、請求書払いが可能です。別途お問い合わせください。

注意事項
● 事前お申し込みと決済が必要です。当日のお支払いはできません。
● 領収書はデータをPeatixから各自ダウンロードをお願いします。
● チケットのキャンセル返金手続きについてはウェブサイトの記載をご確認ください。直前のキャンセルはご遠慮ください。
● まちのBAR体験に参加する場合は別途お申し込みが必要です。ウェブサイトの記載をご確認ください。

問合せ ローカル・マニフェスト推進連盟事務局
早稲田大学マニフェスト研究所内
電話：03-6709-6739
メール：mani@maniken.jp

ローカル・マニフェスト推進連盟　マニフェスト大賞実行委員会　早稲田大学マニフェスト研究所

（様式 10）

令和７年　２月　17 日提出	
（あて先）　会派名　浜松市政向上委員会 代表者　鈴木　恵	
報　告　書	
出張年月日	令和７年２月７日（金）～8 日（土）
出　張　先	茅ヶ崎市民文化会館
出張の理由	ローカル・マニュフェスト推進連盟の勉強会に参加する。茅ヶ崎市の自治体 DX について、マニュフェスト大賞の優秀賞を受賞した団体の先進事例の発表から学ぶ。先進的な自治体や議会の事例を学び、浜松市に活かしていく。
出　張　者 氏　名　印	鈴木 恵 [redacted]
（出張の顛末） 別紙参照	
（備考）	